

内閣府だより



波照間診療所の医師に声をかける大臣

LETTER

島のゆんたく会議について
～大臣と地域住民との対話～

した。「島のゆんたく会議」への出席は、日本最南端の有人離島である波照間島で、厳しい環境の中で頑張っている住民の皆さんのお話を聞きたいという大臣の思いから行われたものです。

会議では、観光業従事者、診療所の医師、学校関係者、製糖所の経営者やさとうきび、もちきび、肉用牛の生産団体の代表者など10人の島民の方々と意見交換が行われました。この中で、地元の方々からは、海がしけると頼みの海上交通が止まって困ってしまうことや、フェリーによる搬送中に高波の影響でお年寄りの患者が骨折したという話、海の水を淡水化して生活用水を確保していることといった離島ならではの実情が紹介されました。

大臣からは、「離島の暮らしの厳しさの一方で、島民の方々が島に愛着を持ち、素晴らしい自然環境や伝統文化を誇りに思い、それらを一生懸命守ろうとしている姿に感銘を受けた。今後、離島に暮らす方々により一



地元の方の声に熱心に耳を傾ける大臣

層安心で質の高い暮らしをしていただけるよう、県や地元市町村と連携して支援策を講じていきたい」との考えが明らかにされました。

会議終了後も、大臣は、会議の参加者に積極的に声をかけるなど、島民の方々とどぎつくばらんな交流に努めました。

「島のゆんたく会議」の模様については、政府インターネットテレビ(13c)で公開しているほか、福田内閣メールマガジン(第10号/2007/12/13)でも岸田大臣がメッセージを寄せています。ぜひご覧ください。

- 政府インターネットテレビ：<http://nettv.gov-online.go.jp/>
- 福田内閣メールマガジン：
<http://www.kantei.go.jp/m-magazine/backnumber/2007/1213/1213.html>
- 内閣府(沖縄担当部局)のページ：
<http://www8.cao.go.jp/okinawa/9/2007/1123.html>